



KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION

Installation/Setup guide

KORG

パッケージ内容

KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONには、以下のものが含まれています。パッケージを開けたら、まずすべてのものがあるかどうかを確認してください。

不足している場合は、お買い上げになった販売店へご相談ください。

CD-ROM

- ・ KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION インストール/セットアップ・ガイド
- ・ KORG Legacy Collection M1 取扱説明書
- ・ KORG Legacy Collection M1 クイック・ガイド
- ・ KORG M1 オリジナル取扱説明書
- ・ KORG Legacy Collection WAVESTATION 取扱説明書
- ・ KORG WAVESTATION オリジナル取扱説明書
- ・ KORG Legacy Collection MDE-X 取扱説明書

KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION インストール/セットアップ・ガイド

KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION M1 Quick guide(英文)

ソフトウェア使用許諾契約

USB キー

ご注意

- ・ 本製品のソフトウェアの著作権は、すべて(株)コルグが所有しています。
- ・ 本製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこの使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたことになります。
- ・ ソフトウェア・シンセサイザーをリアルタイムに演奏するためには、レイテンシーの小さいオーディオ・インターフェイスを使用する必要があります。
- ・ プラグインとして使用する場合は、VST、Audio Units、RTASのいずれかに対応したホスト・アプリケーションが必要です。
- ・ 本製品のソフトウェアには、コピー・プロテクトが導入されています。本製品をご使用いただくためには、インターネットに接続可能なUSBポートを装備したコンピューターが必要です。
- ・ USBキーを破損した場合の修復は有償となります。取扱いについては十分にご注意ください。
- ・ USBキーの紛失/盗難については、一切保証することはできません。新たに商品をご購入いただくこととなりますので、大切に管理してください。

AppleおよびAppleロゴならびにMacは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。

Audio Unitsロゴおよびシンボルは、Apple Computer, Inc.の商標です。

Windows XPは、Microsoft Corporationの登録商標です。

VSTおよびASIOは、Steinberg Media Technologies GmbHの商標です。

RTASは、Avid Technology, Inc.およびその関連会社、ディビジョンの登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

Windows XPへのインストール

Windows XPへのインストールは以下の手順で行います。

- 1 コンピューターがインターネットに接続されていることを確認し、CDドライブにCD-ROMを挿入してください。
通常、自動的に起動し、KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONのインストール画面が表示されます。コンピューターの設定等で自動的に起動しない場合は、CD-ROMの中の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- 2 使用するフォーマット(スタンドアローン、VST、RTAS)のプログラムのインストール・ボタンをクリックしてください。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。
複数のフォーマットのプログラムをインストールする場合は、この手順を繰り返してください。
- 3 次に、[USBキー: License Control Centerのインストール]をクリックしてください。使用言語を選択した後、License Control Centerのインストール画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
- 4 インストールが終了したら、[USBキー: Activation Codeの取得]をクリックしてください。
Webブラウザが起動し、ユーザー専用ホーム・ページ「KORG USER NET」へのアクセスを開始します。
- 5 ユーザー専用ホーム・ページ「KORG USER NET」へのアクセスが完了すると、ログイン画面が表示されますので、初めてユーザー登録をされる方は[新規登録]を、すでに登録されている方はEメール・アドレスとパスワードを入力して[別の製品を登録]をクリックしてください。
- 6 画面の指示に従ってユーザー情報や製品情報を入力してください。
ユーザー情報で登録したEメール・アドレスとパスワードは、再びこのユーザー専用ホーム・ページへログインしてバージョンアップ・データのダウンロード等を行うために必要となりますので、忘れないように書きとめておいてください。
製品情報の登録の「Product Code」欄には、CD-ROMケースに貼付されている「Product Code」を入力してください。
CD-ROMケースに貼付されている「Product Code」は、サポート・サービスを受けるとき等に必要となりますので、大切に保管してください。
- 7 登録が完了すると、お客様のUSBキー用のActivation Codeが画面に表示されますので、コードを正確に書きとめてください。
このActivation Codeは、登録の完了後、Eメールでも通知します。
- 8 Webブラウザを終了し、[インストールの終了]をクリックしてインストールを終了してください。
- 9 USBキーをUSBポートに接続してください。
通常、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]を選択して[次へ]をクリックしてください。
USBキーのインストールが完了したら、[完了]をクリックしてウィザードを閉じます。



この作業は、USBキーを異なるUSBポートに接続する度に行う必要があります。



10 タスクバーの[スタート]、[すべてのプログラム]を順にクリックし、メニューの中から「 Syncrosoft 」 - 「 License Control Center 」を選択してください。

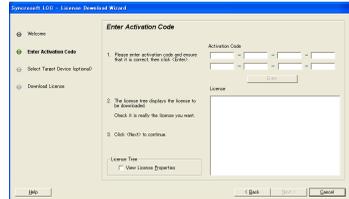
11 License Control Center が起動しますので、「 Wizards 」メニューから「 License Download 」を選択してください。

表示される画面の[Next]をクリックします。

12 「 Enter Activation Code 」の画面が表示されますので、「 Activation Code 」欄に手順7で書きとめたコードを正確に入力し、[Enter]をクリックしてください。

正しいコードが入力されなかった場合、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして再度コードを入力してください。

 一度使用した Activation Code は、再度使用することはできません。



13 正しいコードが入力されると右の画面が表示されますので、[License]の中に KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION の各ソフトウェア名が表示されることを確認して[Next]をクリックしてください。



14 「 Download License 」の画面が表示されますので、[Start]をクリックしてください。

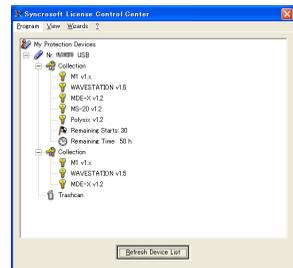
USB キーにライセンス情報がダウンロードされます。完了するまで、しばらくお待ちください。

ライセンス情報が正常にダウンロードされると、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

15 最後に[Finish]をクリックすると、インストールの完了です。

表示される画面に KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION の各ソフトウェア名が表示されることを確認した後、License Control Center を終了してください。

 USB キーには、KORG Legacy Collection シリーズ全ソフトウェアの試用版のライセンス情報が、あらかじめ登録されています(License Control Center で試用可能な回数と時間が確認できます)。上記手順で KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITION のライセンス情報を USB キーにダウンロードしないと、試用版の制限回数 / 時間以降、起動できなくなります。



Mac OS Xへのインストール

Mac OS Xへのインストールは以下の手順で行います。

- 1 コンピューターがインターネットに接続されていることを確認し、CDドライブにCD-ROMを挿入してください。
- 2 KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONのインストーラーをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行ってください。
[カスタマイズ]をクリックすると、インストールするプログラムを選択することができます。



- 3 インストールが終了するとダイアログが表示されますので、[USBキー: Activation Codeの取得]をクリックしてください。

Webブラウザが起動し、ユーザー専用ホーム・ページ「KORG USER NET」へのアクセスを開始します。

- 4 ユーザー専用ホーム・ページ「KORG USER NET」へのアクセスが完了すると、ログイン画面が表示されますので、初めてユーザー登録をされる方は[新規登録]を、すでに登録されている方はEメール・アドレスとパスワードを入力して[別の製品を登録]をクリックしてください。



- 5 画面の指示に従ってユーザー情報や製品情報等を入力してください。
ユーザー情報で登録したEメールアドレスとパスワードは、再びこのユーザー専用ホーム・ページへログインしてバージョンアップ・データのダウンロード等を行うために必要となりますので、忘れないように書きとめておいてください。

製品情報の登録の「Product Code」欄には、CD-ROMケースに貼付されている「Product Code」を入力してください。

CD-ROMケースに貼付されている「Product Code」は、サポート・サービスを受けるとき等に必要となりますので、大切に保管してください。

- 6 登録が完了すると、お客様のUSBキー用のActivation Codeが画面に表示されますので、コードを正確に書きとめてください。

このActivation Codeは、登録の完了後、電子メールでも通知します。

- 7 Webブラウザを終了し、再びKORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONのインストール画面に戻り、[再起動]をクリックしてコンピューターを再起動してください。

- 8 コンピューターの再起動後、USBキーをUSBポートに接続してください。

- 9 「アプリケーション」フォルダの中の「License Control Center」をダブルクリックしてください。

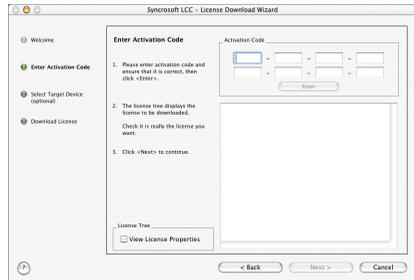
10 License Control Centerが起動しますので、「Wizards」メニューから「License Download」を選択してください。

表示される画面の[Next]をクリックします。

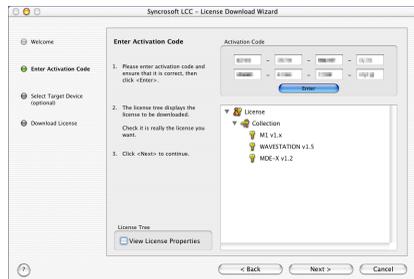
11 「Enter Activation Code」の画面が表示されますので、[Activation Code]欄に手順6で書きとめたコードを正確に入力し、[Enter]をクリックしてください。

正しいコードが入力されなかった場合、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして再度コードを入力してください。

一度使用したActivation Codeは、再度使用することはできません。



12 正しいコードが入力されると右の画面が表示されますので、[License]の中にKORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONの各ソフトウェア名が表示されることを確認して[Next]をクリックしてください。



13 「Download License」の画面が表示されますので、[Start]をクリックしてください。USBキーにライセンス情報がダウンロードされます。完了するまで、しばらくお待ちください。

ライセンス情報が正常にダウンロードされると、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

14 最後に[Finish]をクリックすると、インストールの完了です。

表示される画面にKORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONの各ソフトウェア名が表示されることを確認した後、LicenseControl Centerを終了してください。

🔑 USBキーには、KORG Legacy Collectionシリーズ全ソフトウェアの試用版のライセンス情報が、あらかじめ登録されています(License Control Centerで試用可能な回数と時間が確認できます)。上記手順でKORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONのライセンス情報をUSBキーにダウンロードしないと、試用版の制限回数 / 時間以降、起動できなくなります。



USBキーに関する注意事項

USBキーを接続しても、KORG Legacy Collection - DIGITAL EDITIONのソフトウェアが起動しない場合、以下をご確認ください。

- ・ USBハブをご使用の場合、コンピューター本体のUSBポートに直接接続して動作を確認してください。また、接続されているUSBデバイスをすべて外してUSBキーのみで動作を確認してください。
- ・ USBキーの最新ドライバをインストールしてください。USBキーの最新ドライバは、<http://www.syncrosoft.com/downloads> からダウンロードすることができます。

USBキーを破損した場合の修復は有償となります。取扱いについては十分にご注意ください。

USB規格で定められている5V以上の電圧を出力するUSBポートやUSBハブには接続しないでください。電源供給型のUSBハブをご使用の場合、ACアダプターを間違えるとUSBキーが破損するおそれがあります。また、Macの場合、Appleディスプレイの背面のUSBポートは過電圧が供給されることがありますので、USBキーの接続は避けてください。

USBキーの紛失/盗難については、一切保証することはできません。新たに商品をご購入いただくこととなりますので、大切に管理してください。

ユーザー専用ホーム・ページ

本製品のユーザーになられたお客様は、ユーザー専用ホーム・ページにアクセスすることができます。ユーザー専用ホーム・ページKORG USER NETでは、バージョンアップ・データやプログラム・データのダウンロード等が行えます。

ユーザー専用ホーム・ページへのアクセス

- 1 Webブラウザを起動してアドレス欄に“<http://www.korguser.net>”と入力し、インターネットに接続してください。
- 2 ユーザー専用ホーム・ページのログイン画面が表示されますので、登録したEメール・アドレスとパスワードを入力してください。

note 万が一、登録したパスワードを忘れてしまった場合は、[パスワードを忘れた場合]をクリックしてください。登録したパスワードを確認することができます。

入力が完了したら、目的に応じて、右側の項目のいずれかをクリックしてください。

ログインが完了すると、選択した項目のページが表示されます。各ページで表示される案内に従って操作してください。

セットアップ

ソフトウェアのインストール後にスタンドアローン版を起動し、動作させるための環境設定について説明します。

スタンドアローン版の起動

- 1 外部MIDIデバイスとコンピューターが正しく接続されていることを確認します。
- 2 USBキーをコンピューターのUSB端子に接続します。
- 3 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあるソフトウェア・シンセサイザーのアイコンをダブルクリックして起動します。

Windows

KORG Legacy フォルダは Windows XP ではインストール時に選択した場所にあります。デフォルトでは「Program Files」フォルダ - 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあります。また、タスクバーの[スタート]ボタン、[すべてのプログラム]を順にクリックし、メニューの中から「KORG」 - 「KORG Legacy」から選択しても起動できます。

Mac

「アプリケーション」フォルダ - 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあるソフトウェア・シンセサイザーのアイコンをダブルクリックして起動します。

- 4 システム・メニューから“環境設定”を選択します。
環境設定ダイアログの“オーディオの設定”が表示されます。“MIDIの設定”が表示された場合は、“オーディオの設定”タブをクリックします。

note 初回起動時、何らかの原因で環境設定がクリアされた場合やコンピューターのシステム構成が変更された場合は、起動時に環境設定ダイアログが自動的に表示されます。

オーディオの設定

- 1 “デバイスの種類”または“デバイス”で、オーディオ・ドライバを選択します。

Windows

ASIO: ASIOドライバを使用します。ASIOドライバでは、レイテンシーを小さく抑えることが可能なので、一番良いパフォーマンスで動作します。ASIOドライバがインストールされている場合は、この設定をおすすめします。

DirectSound: DirectSoundを使用します。ASIOドライバがコンピューターにインストールされていない場合は、この設定を使用してください。

MME: MME(Multi Media Extension)を使用します。

 MMEは、他の設定に比べてレイテンシーが大きいので、MME以外の設定にすることをおすすめします。

Mac

お使いのコンピューターにオーディオ・インターフェイスがインストールされている場合は、そのオーディオ・インターフェイスのドライバが選択できます。オーディオ・インターフェイスがインストールされていない場合、選択できる設定は“内蔵オーディオ”のみです。

2 オーディオ出力を設定します。

Windows

“デバイスの種類”でASIOを選んだ場合



ご使用のコンピューターにASIOドライバがインストールされていない場合は、選択できません。無効となります。

- ・“ドライバ名”： 使用するドライバ(デバイス)を選択します。
- ・“サンプリングレート”： サンプリング・レートを設定します。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定範囲が異なります。
- ・“出力チャンネル”： 出力チャンネルを設定します。かならず1-2、3-4といったペアでの設定になります。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。
- ・“クロックソース”： オーディオのクロック・ソースを選択します。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。
- ・“ASIO設定パネル”： クリックすると、ASIOドライバの設定パネルが開きます。仕様や動作は、使用しているドライバにより異なります。詳しくは、使用しているオーディオ・インターフェイスの取扱説明書を参照してください。

“デバイスの種類”でDirectSoundまたはMMEを選んだ場合

- ・“入力ドライバ名”： ドライバ(デバイス)を選択します。同じドライバが複数表示される場合があります。どれか一つを選択してください。
- ・“ビット/レート/チャンネル”： オーディオ・フォーマットを選択します。“入力ドライバ名”で選択したデバイスによって設定範囲が異なります。
- ・“バッファ数”： オーディオ処理のバッファ数を設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。
- ・“サンプル数”： 1つのバッファのサンプル数を設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。
レイテンシーとは、コンピューターがノート・オン・メッセージを受信して、発音するまでの時間をいいます。レイテンシーは、サンプル数×バッファ数で決まります。この数値ができるだけ小さく、かつ安定して動作するように“バッファ数”と“サンプル数”を設定してください。

Mac

- ・“ビット数/レート/チャンネル”： オーディオ・フォーマットを選択します。“デバイス”の選択によって設定範囲が異なります。
- ・“チャンネル”： “内蔵オーディオ”にした場合、選択できる設定はOutput1/Output2のみです。お使いのコンピューターにオーディオ・インターフェイスがインストールされている場合は、他の設定が選択できます。
- ・“バッファサイズ”： オーディオ処理のバッファ・サイズを設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。
- ・“レイテンシー”： レイテンシーが表示されます。“バッファサイズ”の設定によりレイテンシーが変わります。
レイテンシーとは、コンピューターがノート・オン・メッセージを受信して、発音するまでの時間をいいます。レイテンシーは、サンプル数×バッファ数で決まります。この数値ができるだけ小さく、かつ安定して動作するように“バッファサイズ”を設定してください。



“レイテンシー”の値は、バッファ・サイズで決まります。この値をできるだけ小さく、かつ動作が安定するように“バッファサイズ”を設定してください。

note オーディオ・インターフェイスの設定等については、オーディオ・インターフェイスの取扱説明書を参照してください。

MIDIの設定

- 1 “MIDIの設定”タブをクリックします。
各MIDIポートの設定が表示されます。
- 2 MIDI INデバイス1、2、3の各ポートで使用するデバイスを選択します。
MIDI INデバイスは3つまで同時に扱うことが可能です。通常、これらのデバイスからの入力、すべてマージされて扱われます。また、複数のポートを持ったデバイスが接続されている場合、同じデバイスのポートが複数表示されることがあります。
- 3 “クロックマスター”でMIDIクロックのマスターに使用するデバイスを選択します。
ここで選択したデバイスのMIDIクロックに同期します。デバイスを選択しない場合は、常にインターナルクロックの動作となります。
 各ポート設定に選択したいデバイスが表示されない場合は、以下のことを確認してください。
Win: 接続しているMIDIデバイスのドライバがインストールされていますか？
Win: コンピューターのコントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイス」に、接続したMIDIデバイスが認識されていますか？
Mac: アプリケーション・フォルダ ユーティリティ “Audio MIDI設定”の“MIDI装置”タブ・ページに、接続したMIDIデバイスが認識されていますか？

その他の設定

- 1 “その他”タブをクリックします。
操作(ノブ操作法)と自動停止の設定が表示されます。
- 2 操作の“ノブ操作法”で、ノブの操作方法を設定します。
回転: マウスのポインタをノブの指標(値を示すマーク)に移動し、ノブを回すようにドラッグすることで値を変更できます。また、設定したい値の位置をクリックすると、即座にその値に変更できます。
相対的に回転: ノブの任意の位置を回すようにドラッグすることで値を変更できます。回転のようにクリックして値を変更することはできません。
直線: ノブをクリックして上下にドラッグすることで値を変更できます。
- 3 “自動停止の設定”で、自動停止機能を設定します。
自動停止機能は、コンピューターのCPUの負荷によって自動的にオーディオを停止する機能です。(「システム」メニューの中にある“オーディオ停止”を実行したときと同じ動作です)
自動停止機能を使用する場合は、“自動停止を有効にする”をチェックして、“負荷の割合の設定”で負荷のスレッシュホールドを設定します。動作中にCPUの負荷がスレッシュホールドを超えた場合にオーディオが停止します。自動停止機能によってオーディオが停止した場合は、「システム」メニューの「オーディオ再生」を選びます。再びオーディオが再生されます。
 頻繁にオーディオが停止するような場合は、同時発音数を減らすなどしてCPUの負荷を軽くしてください。
 自動停止機能を使用しない場合、可能な限りオーディオを再生し続けようとはしますが、使用しているハードウェアによっては、オーディオの負荷が高くなったときにマウスの操作ができなくなるなどの不具合が発生します。
- 4 “OK”をクリックして環境設定を終了します。

サポート・サービスのご案内

本製品に関するご質問につきましては、下記の「お客様相談窓口」までご連絡ください。

尚、サポート・サービスを受けるためには、本製品の登録を完了している必要があります。ご連絡の際、これらの登録が確認できない場合は、サポート・サービスをご提供できません。

ご連絡の際に必要な情報

ご連絡の際、以下の情報が必要になります。これらの情報が確認できない場合、サポート・サービスをご提供できませんので、必ずご提示ください。

- ・ お名前とEメール・アドレス(KORG USER NETで登録したものがが必要です。)
- ・ 本製品のProduct Code(本製品のCD-ROMケースに貼付されています。)
- ・ 製品名とバージョン(ソフトウェアのAbout画面でご確認いただけます。)
- ・ ご使用環境
コンピューターのメーカー名と機種名:
CPUの種類とクロック:
搭載メモリ容量:
搭載ハードディスクの総容量と空き容量:
OSの種類とバージョン:
オーディオ・インターフェイスの製品名とドライバのバージョン:
その他のコンピューター周辺機器:
- ・ ご質問内容(できるだけ詳細にお願いします。)



ご連絡の前に、本製品の「取扱説明書」と「ユーザー専用ホーム・ページのFAQ」に、ご質問内容に対する回答がないかご確認ください。



コンピューターの基本的な操作方法、音楽制作にコンピューターを使用するための基本的なセッティング方法、曲や音色の作成方法、当社製品以外の製品に関するご質問については、お答えできません。

お客様相談窓口

- ・ Eメールでのお問い合わせ: techsupport@korg.co.jp
- ・ 電話でのお問い合わせ: 03-3799-9086
(受付時間: 土・日・祝祭日および弊社規定の休日を除く AM10:00 ~ 12:00, PM1:00 ~ 5:00)
- ・ FAXでのお問い合わせ: 03-3799-9087



電話でお問い合わせの際には、ご質問の製品が操作できる環境と、本製品の取扱説明書をご用意ください。



ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

Syncrosoft GmbH MODEL: USB Key



Tested To Comply
With FCC Standards

FOR HOME OR OFFICE USE

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Complies with Canadian ICES-003 Class B.

Conforme au Reglement Canadian NMB-003 classe B.

THE FCC REGULATION WARNING (for U.S.A.)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Unauthorized changes or modification to this system can void the user's authority to operate this equipment.

CE mark for European Harmonized Standards

CE mark which is attached to our company's products of AC mains operated apparatus until December 31, 1996 means it conforms to EMC Directive (89/336/EEC) and CE mark Directive (93/68/EEC). And, CE mark which is attached after January 1, 1997 means it conforms to EMC Directive (89/336/EEC), CE mark Directive (93/68/EEC) and Low Voltage Directive (73/23/EEC). Also, CE mark which is attached to our company's products of Battery operated apparatus means it conforms to EMC Directive (89/336/EEC) and CE mark Directive (93/68/EEC).

IMPORTANT NOTICE TO CONSUMERS

This product has been manufactured according to strict specifications and voltage requirements that are applicable in the country in which it is intended that this product should be used. If you have purchased this product via the internet, through mail order, and/or via a telephone sale, you must verify that this product is intended to be used in the country in which you reside.

WARNING: Use of this product in any country other than that for which it is intended could be dangerous and could invalidate the manufacturer's or distributor's warranty.

Please also retain your receipt as proof of purchase otherwise your product may be disqualified from the manufacturer's or distributor's warranty.